

2020年度事業計画書

〔 2020年4月1日から
2021年3月31日まで 〕

当財団は、「産業、経済、文化の発展に貢献する科学技術、芸術等を中心とする分野で著しい貢献をした者の顕彰、研究又は普及啓発に対する助成等を通じてその促進を図ると共に国際相互理解の増進に努め、もって社会の啓発に貢献し、人類の平和と繁栄に寄与する。」ことを目的として、1984年(昭和59年)4月12日に設立され、1985年(昭和60年)に第1回京都賞授賞式、第1回研究助成金贈呈式を開催して事業を開始した。本年度は、財団設立35周年事業として創設した稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップの初年度となる2020年度InaRISフェローに対する助成を開始する。

2020年度事業計画（概要）

I. 顕彰事業

- 第35回(2019)京都賞関連行事「Kyoto Prize at Oxford」(英国オックスフォード)の支援
- 第36回(2020)京都賞の審査および受賞者の決定
対象分野 先端技術部門 : 情報科学
 基礎科学部門 : 生命科学(分子生物学・細胞生物学・神経生物学)
 思想・芸術部門 : 思想・倫理
第36回(2020)京都賞授賞式および関連行事の開催
第36回(2020)京都賞関連行事「京都賞シンポジウム」(米国ワシントン)の支援および寄附
- 第37回(2021)京都賞候補者推薦の受付および審査選考の開始
- 第38回(2022)京都賞授賞対象分野および審査機関委員の決定

II. 研究助成事業

- 稲盛研究助成
 - 2020年度 稲盛研究助成金の贈呈
 - 2021年度 稲盛研究助成の申請受付と助成対象案件の審査および決定
 - 2022年度 稲盛研究助成選考委員の決定
- 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ
 - 2020年度 InaRIS フェロー授与式の開催
 - 2021年度 InaRIS フェローシップの申請受付と InaRIS フェローの審査および決定
 - 2021年度 InaRIS 運営委員の決定
 - 2022年度 InaRIS フェロー選考委員の決定

III. 社会啓発事業

- 第2回「こども科学博」の開催
- 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援
- 京都大学「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」への寄附
- 京都大学「京都こころ会議(Kokoro Initiative)」への寄附
- ロームシアター京都「シリーズ舞台芸術としての伝統芸能 vol.4 雅楽」への寄附

I. 顕彰事業

1. 第 35 回(2019)京都賞に関する事項

- (1) 英国オックスフォード大学主催「Kyoto Prize at Oxford」の開催支援
2020 年 5 月、第 35 回(2019)京都賞受賞者を迎えて開催される英国オックスフォード大学主催の第 4 回「Kyoto Prize at Oxford」を支援すると共に、英国から、欧州及び世界に向けて京都賞を発信する。

2. 第 36 回(2020)京都賞に関する事項

- (1) 京都賞審査機関による審査
第 36 回(2020)京都賞審査機関の各部門専門委員会及び審査委員会において審査選考された候補者を、2020 年 4 月開催の京都賞委員会において審査の上、最終候補者を選定し、同年 6 月開催の定時理事会に上申する。
- (2) 受賞者の決定と発表
京都賞委員会から上申された最終候補者を、2020 年 6 月開催の定時理事会にて承認、決定する。また、受賞者が決定次第、本人へ通知すると共に、受賞者名を公表する。
- (3) 授賞式及び関連行事の開催
第 36 回(2020)京都賞授賞式を、2020 年 11 月 10 日京都市内にて行う。また、授賞式の前後を「京都賞ウィーク」として、関連行事を実施する。
さらに、京都でのイベント終了後、同年 11 月鹿児島市内にて、当該年度受賞者を迎えて開催される「京都賞受賞者 鹿児島講演会」を支援する。
- (4) 米国サンディエゴにおける「京都賞シンポジウム」開催支援および寄附
2021 年 3 月、第 36 回(2020)京都賞受賞者を迎えて米国サンディエゴにて開催される「第 20 回(2021)京都賞シンポジウム」を支援し、2019 年に再調印した「京都賞シンポジウム覚書」に基づき、主催の京都賞シンポジウム組織および共催大学（カリフォルニア大学サンディエゴ校、ポイント・ロマ・ナザレン大学）に対して第 2 回目 35 万ドルの寄附を実施する。（2019 年から 2022 年までの 4 年間で総額 140 万ドルを寄附予定）

3. 第 37 回(2021)京都賞に関する事項

- (1) 推薦依頼の発送と受付
推薦依頼先の名簿を作成し、推薦依頼を行うと共に、推薦の受付を行う。

- (2) 京都賞審査機関委員の委嘱
第37回(2021)京都賞審査機関委員に対し、2020年11月開催の第37回(2021)京都賞審査機関合同会議にて委嘱を行う。
- (3) 京都賞審査機関による審査
第37回(2021)京都賞審査機関において、候補者の審査選考を行う。
- (4) 授賞式及び関連行事の企画
第37回(2021)京都賞授賞式及び関連行事の企画を行う。

4. 第38回(2022)京都賞に関する事項

- (1) 授賞対象分野の決定
第38回(2022)京都賞授賞対象分野を、2021年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。
- (2) 京都賞審査機関委員の決定
第38回(2022)京都賞審査機関委員を、2021年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。

II. 研究助成事業

1. 稲盛研究助成

(1) 2020年度 稲盛研究助成に関する事項

- ① 2020年度稲盛研究助成金の贈呈
2020年度稲盛研究助成対象者に助成金を贈呈する。ただし、2020年4月に京都市内にて実施を予定していた2020年度稲盛研究助成金贈呈式、および例年同時開催する盛和スカラーズソサエティ総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とする。

(2) 2021年度 稲盛研究助成に関する事項

- ① 募集要項の発送と受付
募集要項を発送すると共に、ウェブにて申請の受付を行う。

- ② 稲盛研究助成選考委員会による選考
2020年12月開催の稲盛研究助成選考委員会において、助成対象者の選考を行う。
- ③ 稲盛研究助成対象者の決定と発表
稲盛研究助成選考委員会にて選考した助成対象者を、2021年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。なお、助成対象者は50名、研究助成金は1名あたり100万円（「伯楽」の場合、2年間で200万円）とし、助成対象者が決定次第、本人へ通知すると共に、氏名を発表する。

（3）2022年度 稲盛研究助成に関する事項

- ① 稲盛研究助成選考委員の決定
2022年度稲盛研究助成選考委員を、2021年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。

2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ

（1）2020年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

- ① 2020年度 InaRIS フェロー授与式の開催
2020年度 InaRIS フェローを2020年4月に発表し、併せて東京都内にて InaRIS フェロー授与式を開催する。

（2）2021年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

- ① 募集要項の発送と受付
募集要項を発送すると共に、ウェブにて申請の受付を行う。
- ② InaRIS フェロー選考委員会による選考
2020年12月および2021年1月開催の InaRIS フェロー選考委員会において、助成対象者の選考を行う。
- ③ InaRIS フェローの決定と発表
InaRIS フェロー選考委員会にて選考した助成対象者を、2021年3月開催の定時理事会にて承認、決定する。なお、助成対象者は総員2名、各1名につき1年あたり1000万円を10年間（合計1億円）助成するものとし、InaRIS フェローが決定次第、本人へ通知する。

④ InaRIS 運営委員の決定と発表

2021 年度 InaRIS 運営委員を、2021 年 3 月開催の定時理事会にて承認、決定し、発表する。

(3) 2022 年度 稲盛科学研究機構 (InaRIS) フェローシップに関する事項

① InaRIS フェロー選考委員の決定

2022 年度 InaRIS フェロー選考委員を、2021 年 3 月開催の定時理事会にて承認、決定する。

Ⅲ. 社会啓発事業

1. 第 2 回「こども科学博」の開催

2020 年 8 月、科学とこどもたちの接点を広げ、将来の日本の学力や科学力の水準を高めることを目指し、こどもたちの自ら学びたいと思う探究心を応援するエンターテインメント型の教育イベント、第 2 回「こども科学博」を開催する。

2. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援

当財団からの寄附金（総額 1,100 万ドル）で設立された、ケースウエスタンリザーブ大学「倫理と叡智のための稲盛国際センター」が 2020 年秋に開催する、第 13 回稲盛倫理賞授賞式並びに関連行事への開催協力をはじめ、同センターの活動を支援する。

3. 京都大学「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」への寄附

2017 年 7 月に再調印した寄附覚書に基づき、京都賞に対する社会の期待と関心を高めるとともに、学術・芸術の振興に寄与し、併せて京都大学と当財団の協力関係を強化することを目的に、「京都大学－稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の開催支援として、第 4 回 2,000 万円の寄附を実施する。(2017 年から 2020 年までの 4 年間で総額 8,000 万円を寄附)

4. 京都大学「京都こころ会議 (Kokoro Initiative)」への寄附

京都大学が「こころの未来研究センター」を中心に立ち上げた「京都こころ会議 (Kokoro Initiative)」の主旨に賛同し、その活動支援として、第 6 回 1,500

万円の寄附を実施する。（2015年から2020年までの6年間で総額9,000万円を寄附）

5. ロームシアター京都「シリーズ舞台芸術としての伝統芸能 vol.4 雅楽」への寄附

ロームシアター京都が、伝統芸能の継承と創造を目指すため開催する「シリーズ舞台芸術としての伝統芸能」の主旨に賛同し、第四弾となる雅楽公演に対して100万円の寄附を実施する。

IV. その他

1. 広報活動

(1) 記者発表

2020年4月に2020年度 InaRIS フェロー記者発表、2020年6月に京都賞受賞者発表記者会見、2020年11月に京都賞受賞者共同記者会見を実施する。その他、関係記者クラブ及び記者に対し、プレス資料を随時配布する。

(2) 刊行物の発刊

下記の刊行物を発刊し、関係先へ配布する。

- ・「稲盛財団2019—第35回京都賞と助成金」（稲盛財団活動記録本）
- ・「稲盛財団ニュース」（紙媒体で随時発行）

(3) 電子媒体による情報発信

下記の電子媒体を通じて、京都賞や当財団の活動に関する情報を発信する。

- ・「稲盛財団ホームページ」
- ・「京都賞紹介サイト」
- ・「SNS (Facebook、Twitter、YouTube)」
- ・「メールマガジン稲盛財団ニュース」（随時発行）
- ・「メールマガジン盛和スカラースソサエティ会報」（年数回発行）

(4) 各施設での展示

下記の施設で京都賞及び稲盛財団を紹介する展示を行う。

- ・京都市京セラ美術館（常時）
- ・鹿児島大学 稲盛記念館（常時）
- ・京セラ株式会社 稲盛ライブラリー（常時）
- ・京都大学稲盛財団記念館 京都賞ライブラリー（常時）
- ・九州大学稲盛財団記念館 京都賞ライブラリー（常時）
- ・京都市青少年科学センター（常時）